

3 教職員評価

項目	番号	評価項目	平均
教育目標	1	教育目標を理解し、達成できるよう学年・学級経営を行っている。	3.3
	2	今年度の校長の重点目標を理解し、日々の教育実践を行っている。	3.4
	3	「元気で明るく思いやりのある生徒」の育成に努めている。	3.4
	4	「正しいことは最後までやりぬく生徒」の育成に努めている。	3.4
	5	「自ら学び、考えて行動できる生徒」の育成に努めている。	3.5
	6	「郷土を知り 誇りを持てる生徒」の育成に努めている。	3
教育課程・学習指導	7	教科の指導は指導計画に基づいて週案を作成(提出)し、授業時数の確保を行っている。	3.7
	8	教育活動全体をととして、生徒の自己表現力の向上を図る取組を積極的に行っている。	3
	9	生徒の話をよく聞き、生徒理解に努めた。	3.4
	10	授業の始まりに教室の美化に努めた。	3.1
	11	学習の準備や態度(学習に取り組む姿勢)を定着させている。	3.3
	12	授業において、本時のねらいを明確に示し、まとめの段階でそれが確認できるような授業実践を行っている。	3.2
	13	授業で、事前評価、形成評価、終末評価を行い、フィードバックし「分かる授業」を実践している。	3
	14	生徒が自分の考えを話す授業を実践している。	2.8
	15	諸テスト、学力検査、到達度テスト、体力テスト等の結果を分析し指導にいかしている。	3.1
	16	教科指導において十分に考える時間を設定した授業を行っている。	2.9
校務分掌・会議・研修	17	教育機器(コンピュータ、プロジェクター、ビデオ等)、教材、教具、資料等を活用し、指導効果を高めている。	3.1
	18	校務分掌は責任を持って行った。	3.5
	19	通信(保健だより、進路だより、学級通信、教科だより...)を発行し、学校生活の様子や取組について保護者へ周知している。	2.9
	20	職員会議では意見や発表を行い、経営に参画できるようにしている。	2.9
	21	校内研修で、指導力の向上を図っている。	3.3
	22	校内研修の成果を、日々の教育活動で実践している。	3.2
道徳	23	相互授業観察を積極的に行っている。	2
	24	「道徳」の時間は、指導計画に沿って生徒の実態を踏まえて実施している。	3.3
人権教育	25	「思いやりの心・自己肯定感」の向上を図るための道徳指導に努めている。	3.3
	26	計画的・継続的指導を通して、生徒の人権意識の高揚に努めている。	3.3
特別活動	27	差別や偏見につながる問題の解決が日常的に図られているか。	3.6
	28	Q-Uアンケート等を活用して生徒理解に努め、学級・教科経営の改善に努めている。	2.9
総合	29	学級活動で、生徒が自分の意見を発表する機会は多い。	3.1
	30	「総合的な学習の時間」は指導計画に基づいて実施している。	3.7
情報	31	「総合的な学習の時間」は、学校や生徒の実態に応じた内容で、「総合的な学習の時間」で育てたい資質や能力を育成している。	3.7
	32	「情報教育」は指導計画に基づいて実施され、情報モラルの育成や機器活用能力が育成されている。	3.4
生徒会	33	生徒会活動、各種専門委員会の活動をPDCAのマネジメントで行っている。	3.1
	34	各専門委員会は生徒の自主的な活動で行われている。	3.3

項目	番号	評価項目	平均
進路	35	保護者への進路指導資料(情報)の提供や連携をととして進路指導の充実に努めている。	3
	36	生徒が自らの生き方を考え主体的に進路選択ができるよう、ガイダンス機能を生かした進路指導に努めている。	3.1
	37	自己の生き方を考えるキャリア教育の視点で授業を行っている。	3.0
保健	38	学校保健計画を作成し、学校保健活動(保健行事、学校三師の活用、性及びエイズ指導、薬物指導等)の円滑な推進を行っている。	3.5
	39	保健・健康指導は、健康診断や諸検査の結果をもとに生徒の健康管理に努め、疾病予防、健康管理能力の育成を図っている。	3.5
安全	40	全体指導や学級指導等をととして、生徒の危険予知能力・危機回避能力の育成を図っている。	3.4
	41	防災訓練や危機管理マニュアルを活用し、緊急時の対応策が講じられている。	3.5
	42	学校安全、維持管理のための点検活動を行い、改善を行っている。	3.2
生徒指導	43	生徒指導の意義を理解し、職員が協働して取り組む体制づくりを意識して取り組んでいる。	3.6
	44	不登校や問題傾向の生徒を早期に把握し、家庭・スクールカウンセラー・関係機関等と連携し、指導の充実に努めている。	3.5
	45	教育相談や学校生活に関するアンケート等を活用し、生徒の実態把握に努め、生徒指導の充実に努めている。	3.6
	46	問題行動の指導にあたっては、実態を的確に把握し迅速かつ適切に対応している。	3.6
清掃	47	清掃分担区域を清掃時間に巡回し、生徒の清掃状況を把握している。	3.6
	48	「生徒自身の気づき」を意識して、生徒に清掃指導を行っている。	3.2
給食指導	49	給食の準備、マナー、片付け等、給食指導が適切に行われている。	3.4
	50	「食育」を視点とした給食指導が行われ、生徒は食べ残さない努力をしている。	3.3
行学事校	51	行事のねらいや活動内容・運営方法などを十分に理解し、運営指導している。	3.6
部活動	52	校長の経営方針を受けて、部活動を通して生徒の心や体を育てている。	3.5
	53	各部の活動場所・部室(更衣室)の保清、下校時間を守らせている。	3.4
	54	保護者会(父母会)を結成させ、「部活動の目的」が達成できるよう連携して取り組んでいる。	3.5
学力向上推進	55	校内研修の組織体制が確立され、全職員による共通理解・共通実践が行われている。	3.7
	56	家庭学習課題を毎回出して授業との連動を図り、「わかる授業」の構築を努力している。	3.2
	57	朝の活動の充実に向け、「ステップアップタイム」を効果的に活用している。	3.2
	58	読書活動は、目標冊数(1人:50冊以上)を達成できるように指導の工夫をしている。	2.8
連携	59	本校の課題に対応した研究テーマが設定され、生徒の学習指導、学校生活に生かされている。	3.4
	60	校内外の研修に積極的に参加し、各職員が研鑽に努めている。	3.5
特別支援	61	保護者、PTA、地域との交流を行っている。	3.4
	62	授業や教材に地域人材や施設を活用している。	3.2
特別支援	63	特別支援学級生徒及び特別支援を要する生徒への共通理解及び支援協力体制づくりに協力している。	3.5
	64	特別支援教育の理解を深めるために個人的に研究や情報収集を行っている。	3.3
勤務	65	職員仲間で協力し、支え合えるよう声かけや気配りを行っている。	3.7
	66	職員が困っている時は、学年や分掌を越えて、指導等を手伝っている。	3.6
	67	職員室や給湯室等の美化に積極的に関わっている。	3.5